

2022年2月8日発行

22-06号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**ほんとうのこと**

近年、脳科学への注目が高まっています。しかし、精神科医の斎藤環さんは「心と脳の関係を突き詰めることには大きな意義があるが、まだほとんど答えは出ていないのが現状だ」と言われているということです。作家の佐藤優さんとの対談の記事がありました。

対談では、1990年代には心理学が流行っていたけれど、2000年代になって精神分析をはじめとする心理学に対する信頼感がどんどん低下し、それに代わって脳科学が出てきたと言われます。脳科学で「脳がこうなっています」という説明は、心がどうかということより分かりやすく、安心できるのですが「脳科学」=「全部お見通し」ではないということです。日本人が、脳科学を急速に受け入れ、ある意味信奉されているのは、分かりやすさ、おもしろさの他に、「脳のせいにする」ことによって、自分のせいではないと思えるからではないかと言われます。しかし、それで心の平静は保てても、解決するわけではないと指摘されます。気分が落ち込むのは脳の問題だと、脳を操作しようと薬を服用するけれど、実は、脳はそんなに簡単にできているのではないので、まだ、わからないことのほうが多いということです。

脳に関しては、現状では、まだほとんど答えは出ていない、ブラックボックスのままというのが正確な事実だということです。その例として挙げられていたのが、「幸せホルモン」と言われるオキシトシンについてです。恋人やペットと触れ合うと分泌され、不安や恐怖が減少したり、他者への信頼感が増したり、いいことずくめの「効果」があると言われるオキシトシンですが、実は、動物の愛着行動を促進するエビデンスはあっても、人間については、はっきりした根拠がないと言われます。オキシトシンが、人間にとっての「幸せホルモン」である可能性はあるけれど、「可能性」でしかなく、「エビデンスが得られた」のではないのだそうです。対談では、実はわからないのに、わかっているつもりでいるなら、間違っている場合もあるから危険だと言われ、テレビをはじめとするメディアが幻想を広げる道具になっているので、冷静な視線が必要だと言われています。（2月2日PRESIDENTOnline＜「オキシトシン=幸せホルモン」は人間では証明されていない…"脳科学"を持ち上げるメディアの罪深さ＞）

私たちは、ひとりひとり「現実」だと思っていることがあります。しかし、それは「私の考えの中にある」個人の世界の中で意識していることに過ぎません。それを現実だと捕らえる、その人の中にある「事実」を見つけて、その事実を知ることは大切です。脳がどう反応するかもそういうことでしょう。しかし、事実も、実際に表に現れていることに過ぎず、目に見えない真実は別にあります。そして、その真実を知っても、解決にはなりません。脳が反応する原因がわかっても、なぜその原因ができたか分からないからです。その真実の奥底に「ほんとうのこと」があります。そのほんとうのことがわかることが、解決への道です。科学、医学でわからない、「ほんとうのこと」について、お分かちしたいのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください